

キーキー声を出すこともやパニックは
迷惑だから、外出させない方がよい

発達障害のある子どもがパニックを起こしたら、
大勢で協力して止めにいくのがよい

発達障害のある子どもも、家の中に閉じこもっているだけではなく、町の中で様々な行動のしかたやルールを学んでいきます。しかし、発達障害のある子どもが騒いだり、パニックを起こしたりしているときに「何で親は厳しく叱らないんだ」と周囲をイライラさせてしまう場合があるかもしれません。しかし、発達障害のある子どもの中には、少しの時間待ってあげる方が、無理に叱るよりもずっと早く混乱から抜け出すことができることもあります。

道路で寝ころんでしまったときなどは、移動させるのを手伝って貰うと家族は助かりますが、沢山の人が一斉に近づくことは逆に興奮させてしまうこともあります。上手に発達障害のある子どもの混乱に対応できなくても、「あれは発達障害のある子どものパニックだ。そのうち落ち着くだろう」と知識を持っていてくれるだけで、本人も家族もずいぶん楽になるのです。



相談について

「石川県発達障害支援センター」および「発達障害者支援センターパス」では、発達障害に関する専門相談を行っていますので、困ったことや気になることがありましたら、お気軽にご相談下さい。

また、障害者手帳をお持ちでない方でも、デイサービスやショートステイなどの福祉サービスを利用できる場合があります。詳しくはお住まいの市町にある福祉課等の窓口にご相談下さい。

発達障害者支援センターについて

発達障害者の日常生活（行動やコミュニケーション等）について相談支援や発達支援、就労支援（必要に応じて公共職業安定所、地域障害者職業センター及び障害者就業・生活支援センター等と連携）、普及啓発及び研修を行っています。

また、障害者の特性とライフステージにあわせた支援を提供するために、医療、保健、福祉、教育及び労働等の各関係機関と連携を図ります。

